

2024年9月30日

各位

WMパートナーズ株式会社
エー・アイ・キャピタル株式会社
株式会社三井住友銀行
株式会社日本政策投資銀行

プライベート・エクイティ・ファンドのセカンダリー投資を目的とする
ジャパン・プライベート・エクイティ・オポチュニティ 2024 投資事業有限責任組合の
設立について

WMパートナーズ株式会社（代表取締役社長：徳永 康雄、以下「WM」）とエー・アイ・キャピタル株式会社（代表取締役社長：佐村 礼二郎、以下「AIC」）は、この度、共同で「ジャパン・プライベート・エクイティ・オポチュニティ 2024 投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」）を設立し、株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「SMBC」）及び株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：地下 誠二、以下「DBJ」）は、出資者として本ファンドに参画したことをお知らせいたします。

本ファンドは、プライベート・エクイティ・ファンド等への出資持分の譲受や継続ファンド等への出資（以下「セカンダリー投資」）を主な投資対象としており、2021年9月設立の「ジャパン・プライベート・エクイティ・オポチュニティ 2021 投資事業有限責任組合（以下「前号ファンド」）」の後継ファンドとして、WM 及び WM と AIC 両社の主要メンバーが無限責任組合員を、AIC が投資助言業者を担う協働体制で運営されます。国内セカンダリー取引の需要拡大に対応するため、総額200億円超の規模とすることを目標に、SMBC や DBJ の他にも複数の投資家が参画し、既に前号ファンドを上回る金額規模となっております。

前号ファンド設立以降、投資家（以下「LP」）に対する流動化機会の提供を通じた国内セカンダリー市場の創出を主要テーマとして活動してきた結果、「国内LPからのファンド持分譲受」と「国内を主要投資対象とするファンドの持分取得」はいずれも前号ファンド投資実績の80%超を占めており、継続ファンド等への投資を通じファンド運営者（以下「GP」）が主導する流動化ストラクチャーの実現にも貢献するなど、着実に本邦におけるセカンダリー取引実績を積み上げることができました。

現在、日本政府が推進する資産運用立国の実現に向け本邦プライベート・エクイティ市場の拡大が推進されておりますが、一方でグローバルでの政策金利の変動やそれに伴う株式市場のボラティリティの上昇などマクロ環境の不透明感も増しており、LP 及び GP の選択肢の拡大に資するセカンダリー投資は、その活用の機会がこれまで以上に増加することが想定されます。

WM 及び AIC は、引続きセカンダリー投資を通じて、国内を中心とする LP 及び GP の皆様に対して適切な流動化の機会や有益な流動化ストラクチャーを提供することで、国内セカンダリー市場を

リードし、プライベート・エクイティ業界のエコシステムの発展に貢献してまいります。

SMBC 及び DBJ は、前号に引き続き本ファンドへの出資を通じて、セカンダリー取引市場の活性化を図ることで、流動性向上による国内投資家の PE 市場への参入促進や、投資家層の拡大による国内のリスクマネー供給規模の拡大等、国内 PE 市場の更なる発展に貢献してまいります。

【本ファンドの概要】

名称	ジャパン・プライベート・エクイティ・オポチュニティ 2024 投資事業有限責任組合
無限責任組合員	WMパートナーズ株式会社、WMパートナーズ株式会社 およびエー・アイ・キャピタル株式会社の主要メンバー
投資助言会社	エー・アイ・キャピタル株式会社
ファンド総額(目標)	200 億円
ファンド存続期間	10 年
追加募集期間(予定)	2025 年 7 月末

【WM の概要】

名称	WMパートナーズ株式会社
代表取締役	松本 守祥、徳永 康雄
所在地	東京都千代田区麹町三丁目 2 番地垣見麹町ビル別館 4 階
株主	WMP 株式会社 (パートナーが出資する持株会社) 株式会社日本政策投資銀行
会社概要	プライベート・エクイティ・ファンドの組成・運営

【AIC の概要】

名称	エー・アイ・キャピタル株式会社
代表取締役社長	佐村 礼二郎
所在地	東京都千代田区丸の内一丁目 8 番 2 号 (鉄鋼ビルディング 6 階)
株主	株式会社三井住友銀行 大同生命保険株式会社 三菱 UFJ 信託銀行株式会社
会社概要	プライベート・エクイティ投資に特化した： ・投資運用サービス (自己運用、一任投資運用) ・投資助言サービス ・モニタリング・サービス

以 上